



さじきばら あつこ  
棧原篤子さん

## プロフィール

厳原町小浦出身、小浦在住。厳原北小学校、厳原中学校、対馬高等学校卒業後地元に残り就職。職場で出会ったご主人も小浦の方だったので、生まれてから現在までずっと小浦で過ごしている。結婚後、事務や学習塾助手などの仕事を経て、今年2月には、趣味の手作りが高じ、布物を揃えた工房を開く。自営業を営むご主人、小学6年生の息子さんとの3人暮らし。

生粋の小浦人なんですネ。

そうなんです。生まれてから35年間ずっと小浦で暮らしています。ちなみに私は、厳原北小学校が開校した時の初めての一年生で、当時は体育館がなく図書室が入学式の会場だったことを覚えています。

グラウンドもまだ石ころがいっぱいで、全校集会の後には、みんなよく石ころ拾いをしたものです。学校周辺の桜はあの頃より随分大きくなって・・・今、息子がそんな思い出の校舎に通っています。来年は北小開校30周年。記念行事も計画されています。

地元を出たいという気持ちにはなりませんでしたが？

出たいとは思いませんでした。私はインドア派なので、自分のやりたいことは家の中で十分満たされていたんですよ。物を作ったり、本を読んだり。自分にとってはずっと過ごしてきたこの場所が一番馴染んでいるし、居心地もいいですね。ただ馴染み過ぎて故郷の良さに疎くなっている一面もあるかな・・・。

趣味の物づくりは？

高校生の頃から布を使って小

物などをよく縫っていました。

息子の通園バッグやリュックサックも作りましたね。子育てが一段落してからは作品数も増えました。洋服やストール、手提げ、アクセサリーなどが中心です。最近は帽子に興味が出て、というか実は私、帽子コンプレックスがありまして(笑)髪の量がとても多いので既成品ではなかなか合わないんです。自分に似合う帽子を作るぞ！と目下、勉強中です。

手作り仲間の皆さんとの交流もあるんですか？

市民が作品を出す手作り市がきっかけでいろいろな方と出会いました。私のように布を用いる方をはじめ、ランプ、ツールペイント、竹細工、似顔絵などジャンルは様々です。同じ布物でもレトロ系やポップ系など作風も違って、作者一人ひとりの感性に触れることができですね。手作りの魅力は？って話題になると皆、口を揃えて、オンリーワンでしょ！って盛り上がったり。

小学生の子どもさんをお持ちということ、PTA活動も頑張っているらしいやると聞きましたが。

授業参観や行事などできるだけ学校に足を運ぶようにしています。ちなみに主人はPTA会長をやっています。ちょうど私の工房の前が通学路で、子どもたちは会うとよく挨拶をしてくれているんですよ。小浦交番が移転してからは特に子どもの事故防止を気にかけています。旧道でも意外と交通量が多いのでドライバーの安全運転をお願いしたいです。

これから叶えたいことは？

小浦地区は自衛隊さんの官舎があることから転勤者が多く見られます。そんな方たちに対馬暮らしのお土産の一つとして手芸を覚えてもらうのも楽しいかなって。「対馬で が作れる ようになった」とか言ってもらえると嬉しいじゃないですか。あと、夏休みには、子ども手芸教室も考えたり。自分の趣味が、地域のお役に立てたら幸せですね。

毎回、登場して下さった方に次の方をご紹介いたたくこのコーナー。  
次回の出演は厳原町にお住まいの三浦征剛さんです。

## 異業種交流会で「対馬」をPR



お帰りになる皆さんに孝行麺、対州そば、スープのセットをお渡ししました。

福岡で活動しているといろいろなお誘いをいただきます。

5月12日、中央区春吉のホテルで開催された異業種交流会で対馬の製品を使っていたいただきました。今回で4回目の参加ですが、毎回対馬の特産品をPRの時間をいただいています。前回孝行麺の試食を行ったところ「美味しかったよ」「どこで買えるの」と好評で、「ではお土産で使いましょう」ということになりました。

交流会では、対馬に行ったことがある、友だちが対馬にいる、対馬のご出身など様々な方とお会いします。もちろん対馬に行ったことが無い方、対馬を知らない方がまだまだ多いので、対馬の認知度をあげるべく日夜活動しています。

## 福岡で見つけた“対馬のいいもの”

福岡事務所のスタッフが、福岡で触れた対馬をご紹介しますコーナーです。



美味しく仕上がっています。

マリンメッセ福岡で開催された食品関連の展示会「西日本食品産業創造展」に行ってきた。会場の一番目立つところに「浜御塩」や「藻塩」を製造されている株式会社 白松のブースを発見、お話を伺いました。昨年10月から、亀田製菓の「塩えびあられ」に「浜御塩」が使われていて、これがローソン限定の商品だそうです。カルビーの期間限定商品「夏ポテト」に続く全国展開ですね。



カラ期間に  
「ご注意ください」

## 年金コーナー



「ご注意ください」

20歳から60歳になるまでの40年間、国民年金、厚生年金などの公的年金制度に加入して保険料を納めた方には、65歳から月額6万6千8円の高齢基礎年金が支給されます。ところで、よく、「老齢基礎年金を受けると加入期間が数年足りなかつた」といった深刻な話を耳にします。ここで大切なのが「カラ期間」を生かすことです。

老齢基礎年金を受けるためには、25年以上の期間が公的年金制度の保険料を納めた期間か、国民年金の保険料を免除された期間であることが必要ですが、この25年にはカラ期間も含まれることになっていきます。

カラ期間とはこのカラ期間は、上記の25年の資格期間に算入されませんが年金額には反映されない「実」のない期間のため、通称「カラ期間」と呼ばれます。

このカラ期間の主なものは、原則、昭和36年4

月以降の20歳以上60歳未満の期間で、国民年金に任意加入できたのに任意加入しなかつた次の人の期間などとなっています。昭和61年3月までの厚生年金などの加入者の被扶養配偶者平成3年3月までの学生

海外在住の日本人。また、昭和61年3月までに厚生年金などから脱退手当を受けた期間もカラ期間とされています。

(本人の申出が必要です)ただし、これらのカラ期間は、年金の未加入期間となっていて、日本年金機構にはその記録が残っていないため、原則として、ご本人の申出に基づいてカラ期間の有無が調査されることになっていきます。

そのため、25年の老齢基礎年金の資格期間を満たせない方で、カラ期間となる可能性のある期間をもっていると思われる方は、出張年金相談等でその旨を申し出て相談してください。また、カラ期間がない

ために25年の資格期間を満たせない方は、60歳から70歳になるまでの間に国民年金の任意加入者になることもできます。この場合の保険料の額は、一般の第1号被保険者と同様、平成22年度は月額1万5千円となっています。ただし、任意加入者には免除制度がありませんので、ご注意ください。

問い合わせ  
日本年金機構  
長崎北年金事務所  
095 861 1582

|                              |                       |                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|------------------------------|-----------------------|
| 日時                           | 場所                    | 日時                           | 場所                    |
| 7月23日(金)<br>午前9時から<br>午後1時まで | 美津島地域活性化センター別館<br>会議室 | 7月22日(木)<br>午前9時から<br>午後5時まで | 対馬市役所<br>別館第1会議室      |
|                              |                       |                              | 長崎北年金事務所<br>出張相談のお知らせ |